

ニーラックス 3 トラブルシューティング

本機の販売は 10 年以上前になるケースがほとんどで、医療機器としては耐用期限を過ぎた状態で、海外の製造メーカーやソフトウェアの開発元もすでに存在しません。純正部品を使用しての修理は僅かな在庫限りとなりますが、バッテリーは国内調達品があるので弊社にて交換修理が可能です。

電話などで「グラフが出ない」とのご相談が大変多いのですが、弊社は修理業として受け付けますので、明確な故障依頼が必要です。「グラフが出ない」という結果に至るには、ほぼあらゆるトラブルケースが考えられ、本体の故障でなく、PC や充電アダプタ側に問題がある場合が多々あります。まずは本書 4 ページ「よくあるトラブルシューティング」で故障以外の原因を検討してください。

それでも回復しない場合は、下記チェックリストを確認・記入した上で、メールにてご返送ください。よろしくお願いいたします。

インデックス有限会社 Index Ltd. 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 4-14-6

E メール mail@index-j.com

Tel:(03)3720-9031 (電話対応はしておりませんので、上記メールアドレスか、下記 WEB フォームからご連絡ください)

<http://www.index-j.com>

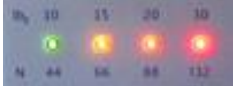
基本確認事項

1	会社・施設名	
2	ご住所(郵便番号)	
3	担当者名	
4	返信先電子メールアドレス (メール添付して送付する場合は記入不要)	
5	ニーラックス機器番号 機器底面ラベルに記載「01xxx」「02xxx」など	
6	不具合内容 (なるべく具体的に)	
7	いつごろから発生したか	
8	頻度はどの程度か(計測のたびに、週に 1 回程度など)	
9	どのような動作のときに発生するか	
10	どのような現象か(本来○ ○となるべきところが△△ となる等)	
11	充電アダプタ断線による充電不良	☐ はい ☐ いいえ
12	本体や PC(タブレット)は十分に充電されていますか?	☐ はい ☐ いいえ
14	別の USB ケーブルを使って確認した(汎用のプリンタケーブルを流用可能)	☐ はい ☐ いいえ
15	PC の別の USB 端子を使って確認した	☐ はい ☐ いいえ
16	本体ハンドル青ボタン接触消耗による入力不良(反対側では正常に入力する)	☐ はい ☐ いいえ

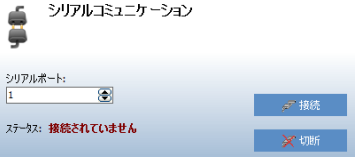
不具合内容は結論だけでなく、推測した原因となる症状をできるだけ具体的に記入してください。写真、動画などをいただければ話が早くなります。

ニーラックス 3 本体のチェック

ニーラックス 3 本体に USB ケーブルや充電ケーブルが接続されている場合、まずすべて外してください。

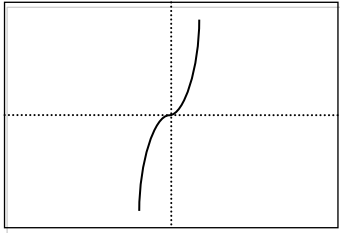
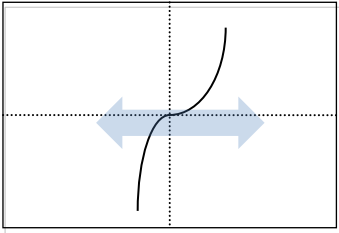
手順 1	本体の電源を入れてください	
	確認事項 1 上面パネルの 4 つの LED が順に点灯して消えますか？（最後に光ったままにならない）	☐ はい ☐ いいえ
	確認事項 2 LCD（液晶画面）に数字が出ますか？	☐ はい ☐ いいえ
手順 2	パテラプレートの位置を確認してください	
	確認事項 3 正しい位置に調整されていますか？（上下に動く余裕がある状態⇒取扱説明書参照）	☐ はい ☐ いいえ
	確認事項 4 パテラプレートの固定ネジが緩んでいませんか？	☐ はい ☐ いいえ
手順 3	青いボタンを押してください	
	確認事項 5 LCD（液晶画面）の表示がゼロになりますか？	☐ はい ☐ いいえ
	確認事項 6 パテラプレートを下させると LCD の数字が変化しますか？	☐ はい ☐ いいえ
	確認事項 7 ハンドルを押す/引く時、患者に接地している二つのレバーの動きに正しく差が出ていますか？ ニーラックス 3 は 2 本のレバーの差を測定 しているの、2 本が一緒に動いたら測定値は出ません。	☐ はい ☐ いいえ

ソフトウェア、パソコン接続関連のチェック

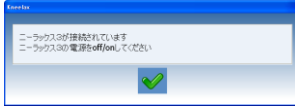
手順 4	ニーラックス 3 の電源を一旦切り、再度入れてください	
手順 5	パソコンを起動し、USB ケーブルを接続してください	
手順 6	ソフトウェアを起動してください	
手順 7	 「オプション」→  「シリアル」を選択してください	
	確認事項 8 「ステータス」が「Connected」または「接続されています」になっていますか？ 	☐ はい ☐ いいえ
手順 8	測定を開始してください	
	確認事項 9 測定開始後、測定画面になりますか？	☐ はい ☐ いいえ

測定結果に異常がある場合は、だいたいの曲線を下記に手描きで描いてください。

計測中、青いボタンを押し続けていませんか？	青いボタンを一度押すと、ソフトウェアの画面が「測定中」になります。ボタンが劣化して二度押しになったり、押しっぱなしだったりすると PC 側が「測定中」でない状態へ移行している可能性があります。
青いボタンを押したらまず下へ押し下げていますか？	測定はまず押し下げる側からです。先に上へ持ち上げると、一連の測定を認識できずに途中で終わったり、終わらなかったりします。

充電ケーブルを接続したまま計測していませんか？	充電アダプタはノイズを発生するため、測定結果に悪影響を及ぼします。測定中は充電アダプタを外してください。
ニーラックス3本体は十分に充電されていますか？	電池が足りないと、垂直に極端に短いグラフが出るなど、正しい結果が得られません。
最初に下方へ押し下げたとき、ディスプレイにマイナス（-）が表示されますか？	最下点が検出できないと、曲線が確定されません。大腿サポートの位置が膝の真下にある、もしくは、靱帯が堅いなどの理由でマイナスに表示が出ないと、計測が終わらなかったり、確定した曲線が欠けたりする場合があるのでご注意ください。
固定ベルトはときどき交換していますか？	固定ベルトは消耗品ですので、一定期間毎に交換する必要があります。 交換する時期の目安は下記の通りです。 ①使用中の接着感が低下してきたとき ②計測結果が正しくないと思われるとき 下左図のようなグラフになると考えられるにもかかわらず、下右図のようなグラフが表示される原因として、固定ベルトの固定が甘くなっていることが考えられます。   右側の図では、右上部（引き上げる部分）のグラフが横に広がったようになっています。これは、押し下げるときにはベルトの緩みの影響が少ないのに比べて、引き上げるときは大きな影響があるためです。 固定ベルトをしっかり締めて再計測してください。 続けて同じような計測結果が出る場合は、固定ベルトのマジックテープの接着力が衰えていると考えられます。お早めに交換をお願いいたします。

よくあるトラブルシューティング

PC がニーラックス 3 を認識しない。 画面に大きく X が 出る	原因	ニーラックス 3 本体と PC が正しく接続されていない場合に「X」が表示されます。ニーラックス本体の電源の有無はこの段階では関係ありません。 ①USB ケーブルが外れている。 ②USB ケーブルが内部で断線している。 ③USB 端子が劣化している。USB 端子は規格上の抜挿回数が 1,000 回程度なので、毎日抜き差ししていると、数年で接触不良が起こる。ケーブル/PC/ニーラックス 本体など、全ての USB 端子が劣化する可能性があり、どこか一カ所とも限らない。 ※上記の事象が同時に複数発生することもあります。	  
ニーラックス 3 が 作動しない	原因	充電されていない	対応 必ず十分に充電してから使用するようにしてください
充電ケーブルを接続しても充電できない	原因①	本体のスイッチが入ったままだと充電ができない	対応① 本体のスイッチを OFF にしてください 原因② ・充電アダプタが故障している（ケーブル断線等を含む） ・ニーラックス本体 3 の内蔵充電池が劣化している 対応② 別途資料「KNEELAX3 充電機取扱い時の注意点」を確認し、改善しない場合は充電アダプタ修理、あるいは、充電池の交換を依頼してください。ご依頼の際、確認のために何を実施したかを詳しくご報告ください。
計測ボタン（グリップハンドルの青ボタン）を押しても計測ができない	原因	2 度目の計測のとき、又はスタンバイモードになっているとき、計測ボタンを 1 度押しただけでは計測開始にならない	対応 計測ボタンを 1 度押すと計測モードの開始、再度押すと計測自体の開始になります。計測中はグリップハンドルの根元にある青い LED が光りますので、その光を確認してから計測するようにしてください
計測結果が正しくないと 思われる	原因	本体固定ベルトの接着が甘くなっている（4.2 項参照）	
ソフトウェアのバージョン番号が知りたい	対応	固定ベルトをしっかりと固定するか、交換してください。	右上の「Monitored Rehab Systems」ロゴをダブルクリックしてください。バージョン番号が表示されます
			